

応募者	株式会社兎ッ兎
1. 活動名	女性も輝く持続可能なワイナリー経営
5. 表彰の対象となる活動の目的	<p>【ワイン造り】①長期の計画でワイン醸造・ぶどう栽培をすることにより良質なワイン・ぶどうを生産するため ②地域コミュニティを様々な角度で支援することで、農業や製造の要素を含むワイナリーが持続可能な経営を進めていくため</p> <p>【女性活躍推進】①少数精鋭で事業活動を行ううえで、性差なく活躍の領域を平等かつ公平に保証することで、女性社員の個の能力を最大限にひきだすため。またそれは全社員の可能性を広げることにつながるため。 ②各々の仕事の充実、人生を豊かにする手段のひとつであり、自己実現を育める職場環境を提供し続ける責務を果たすため。</p>
6. 表彰の対象となる活動内容	<p>(① 実施期間、②対象者・参加人数、③実施場所、④活動概要などを記載してください。)</p> <p>【ワイン造り】 ①2007年～現在 ②従業員5名 ③兎ッ兎ワイナリー周辺地域 ④耕作放棄地・担い手のいない農地の利活用 麻生地域周辺において農家の離農・後継者不足に伴い、農地の担い手が減っている現状がある。私たちがぶどう畑としてそのような農地を活用することで、農地の放棄を防ぐことができる。 広げた土地において、ただぶどうを栽培するだけではなく、地球温暖化に適応することを目指したワイン用ぶどう新品種の栽培研究、化学肥料や農薬に依存しない栽培体系の構築に取り組むことで、その広げた農地をより長く効果的に利用できる。</p> <p>【女性活躍推進】 ①2019年～現在 ②当社女性社員(正社員、パート)2名 ③株式会社兎ッ兎 ④「ぶどうとワイン造りを通して夢と未来を創造する」という経営理念のもと、当該活動のためにSDGs 社会2.3.5.6.7 経済5.10を中心に取り組んだ。ぶどう品種それぞれに個性があるように、単に農作業や製造を行う労力ではなく、働く人たちがすべてが性差なく自己実現を目指せるように心のケアと制度の確立によって支援をしている。お互いを支え合って未来を育む少数精鋭でありたいと取り組んでいる。</p>
表彰の対象となる活動の自己評価	
① モデル性	<p><ワイン造り> ワイン醸造に必要な原材料であるぶどう生産、そして製造されたワインの販売など、生産・加工・販売の一連の流れを一つの経営体が行うことで、高付加価値がついた製品の販売をすることができる点。また、地域に産業や社会活動など様々なメリットを創出できる。今回の取り組みでは、既存の農地で生産されるものに付加価値をつけ、商品化・ブランド化につなげた点である。</p> <p><女性活躍推進> 女性経営者ならではのきめ細やかな配慮とそれに基づく具体的な就労規則全面改訂。前職の経験を活かし、コーチングを中心とした「心理的安全な職場づくり」への取り組み。</p>
② ネットワーク	<p><ワイン造り> 地域農家とのコミュニケーションによる情報収集、また農地の受託。農地集積に関する行政(鳥取市・鳥取県)との連携(補助金による支援・情報収集等)。京都のぶどう栽培農家との連携による新品種開発・研究。</p> <p><女性活躍推進> 当社の課題感のみならず社会における課題感を共有し、助言を受け行動化につなげるために、顧問社労士(女性)、顧問税理士(女性)、鳥取県職員 OG と連携している。また、当該活動の具体的な活動の一つとして、鳥取県施策を活用し「鳥取県男女共同参画認定企業」を目指し、鳥取県令和新時代創造本部女性活躍推進課と連携を密にして指導を受けている。PSGs 宣言企業として県内外の企業の取り組みから学びを得ている。</p>
③ 包摂性	<p><ワイン造り> 私たちが麻生地域でぶどう栽培等を含めたワイナリー経営を続けることで、地域住民の方々と様々な接点を作ることができる。一人暮らしの高齢者も多くいる麻生地域の住民と、密接な関係性を築くことで地域社会の維持・発展につながり、ワイナリー経営が地域社会を支える土台となることができる。</p> <p><女性活躍推進></p>

	<p>女性社員の活躍推進は、社員全員の活躍を推進すること捉え、社員の相互理解と協力体制が不可欠と考える。そのために、全社員の心情把握のため月1回以上の OneOnOne コーチングの機会を設定している。また定年を迎えた女性社員の「死ぬまでここで働きたい」という希望に沿って再雇用し、加齢に伴う労働内容の配慮を行うと思に、全社員に対し労働作業それぞれの意味するものを意図的に伝えている。</p>
④統合性	<p><ワイン造り> 【経済】農地を増やし、製造量を増やすことで、ワイナリーはより収入を獲得し、さらに農地を増やせる 【社会】ワイナリーの経営が続くことで、麻生地区のコミュニティを維持・発展できる 【環境】耕作放棄地等を利活用することで、農地や周辺生態系の保全に貢献できる</p> <p><女性活躍推進> 鳥取県施策の一つである「鳥取県男女共同参画認定企業」を目指し活動してきた。ハラスメント防止に関するチラシの作成、鳥取県家庭教育推進協力企業制度協定の締結、イクボスファミボス宣言書、就業規則の全面改訂をすでに完了し、12月23日に行われる「鳥取県男女共同参画推進企業認定審査会」にて審査を受けるところまでできた。</p>
① 継続性	<p><ワイン造り> 【努力点】ワイン販路の拡大(例.スーパーなど小売店、飲食店、ホテルなど)。前年度に比べ10軒以上増加。また、市内飲食店と協力しワイン会を開くことで、消費者理解を深める機会を年数回設けている。 【今後の計画】2022年:1.6haから2023年:2.0haまで農地を拡大する。</p> <p><女性活躍推進> 社員の成長を支援していくとともに、社員に対して貢献に見合う報酬制度の運用と継続的な教育プログラムの実践、独自性のある体験機会の創造などを提供していく予定である。今期は、鳥取県の支援をうけて、「FOODEX2023」への出展にチャレンジする。自社商品のPRや販売は当然ながら、業務でやりとりしているお得意先や日本産酒類生産者、世界のワイナリーと直接触れる機会も提供することを企図した。</p>
	<p><ワイン造り> 『すべてはおいしいワインのために』をモットーに、弊社はぶどう栽培・ワイン醸造に取り組んでいる。農地を拡大することは、ぶどう栽培において様々なことにチャレンジできる環境が広がる。例えば、新品種の導入や栽培方法の研究など栽培に関する知識や経験をより蓄えられる。すなわち、農地を拡大することでよりよいワインを造ることに繋がり、同時に耕作放棄地等を利活用して地域環境を守ることになる。 ワインの品質を高めるための取り組みが地域環境を守り、ワイナリー経営をより安定化させ、『持続可能なワイン造り』を可能にする。</p> <p><女性活躍推進> 女性活躍推進の活動は、全社員一人一人の心情把握と心理的安全を実感できる職場づくりからという考えを基礎に取り組んでいる。弊社の事業である、ぶどう栽培～ワイン醸造～販売という幅広い活躍ステージを有する6次産業において、自他ともに認められる女性活躍推を実現できれば、より多くの人々の活躍推進の場となり得ると同時に地域全体への影響や、様々な企業への波及効果も期待できると考え活動に取り組んでいる。</p>